

【学校教育目標】

自分らしさを輝かせ、たくましくのびる子

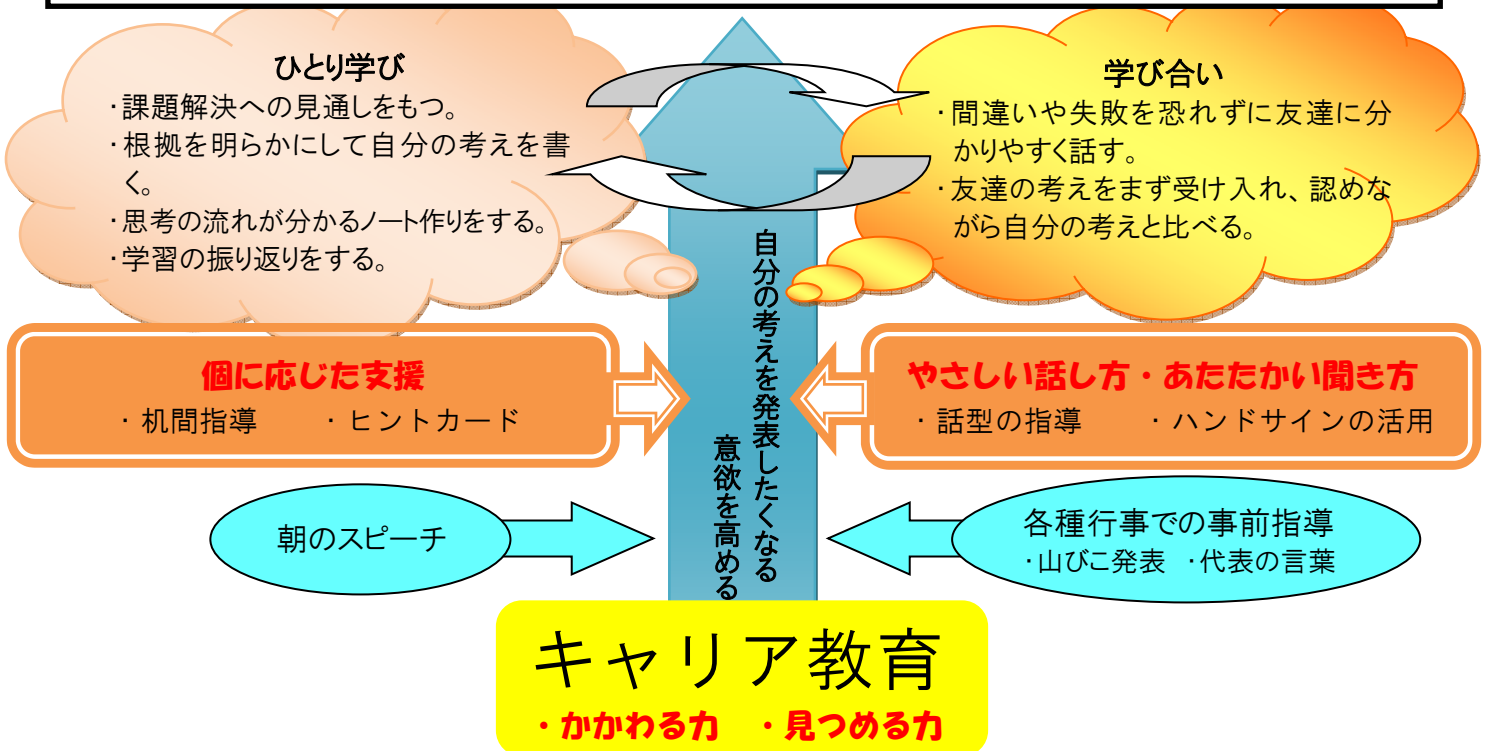
—小さな学校 大きなファイト—

<研修主題>

# 自分の思いや考えを分かりやすく表現できる子の育成

<目指す子供像>

- ・1、2年 **分かったことや考えたことを図や絵を用いて書く。**  
自分の考えを順序立てて話す。(「はじめに」「次に」「最後に」)
- ・3、4年 **自分の考えを理由を明確にして書く。**  
相手や目的に応じ、筋道を立てて表現する。  
相手の意見を踏まえ、「似ている」「違って」などを使って、自分の考えをつなげて表現する。
- ・5、6年 **自分の考えを図や絵、数直線などを用いて分かりやすく整理して書く。**  
お互いの表現を受けとめ認め合う中で、「同じ、似ている」などの比較だけでなく、「2人の意見を合わせると」などの統合をし、自分の考えを深める。  
自分の思いや考えを、相手を意識しながら適切な言葉や方法で分かりやすく表現する。



児童の実態

- 意見交換を活発にしようとする意識が高まりつつある。
- 主体的に課題に取り組もうとする意識は高まりつつある。
- 課題に取り組む手順や方法の工夫、困難を克服して実行する力が十分ではない。
- ノートをそのまま読んだり、聞き手を意識せず発表したりするので発表が分かりにくい。

少人数の利点を生かした  
主体的に学ぶ楽しい授業

- ・知的好奇心を高める導入の工夫
- ・ひとり学びや学び合い活動を取り入れた学習過程
- ・主体的に発表を行う場の設定
- ・教師による揺さぶり発言の工夫

少人数・複式授業研究

- ・発達支援教育の理念を根幹にした授業作り、個への支援
- ・能力の差を埋めるための指導、支援の方法の工夫
- ・事後検討会の実施